

雲よー原点と越境ー (谷川雁研究会機関誌) 第2号

本年二月七日刊行予定(A5判 250頁 頒価・2千円(税込))

● 目次

雲と雁と『国生み』(雁流日本神話)と

谷川雁の可能性が渦巻く七つの源とは? 松本輝夫

谷川雁と吉本隆明 . . . 自立の分岐と現在の交差 とよだもとゆき

今、谷川雁を語る . . . 新たな共同性の回復、社会的連帯は可能か 脇田愉司

イソップと雁 戦中派谷川雁 北野辰二

テーマ活動の陣形 . . . 神話ごっここの原点を求めて 河村昭利

『アリババと四〇人の盗賊』とイスラム金融 木野勇人

らくだ・こぶに、柔らかな谷川雁 . . . 『グリーンシュ』研究 仁衡琢磨

ラボ・パーティ教育運動の「工作者」・谷川雁 佐藤邦彦

ラボ誕生前後に出会えた二人の大恩人 . . . 私にとっての谷川雁さんと榊原巖先生 花上裕子

雁さんのズルさが結晶した『かいだんこぞう』 あきあかね

物語の力、子どもの力、そして大切な絆 やぶつばき

読者からの反響——創刊号を読んで 門脇厚司 他

編集後記

執筆者紹介